

協働のまちづくり

「ごみの減量」はみんなの願い

第2回 まちづくり市民会議

まちづくりに取り組む各団体が前向きに議論する「第2回まちづくり市民会議」を7月10日、市役所で開催。今回は「ごみの減量」をテーマに、コミュニティ運営協議会、市民活動団体、市民、市職員ら総勢51人が「みんなで何ができるか」を議論しました。

問い合わせ先 経営企画課 ☎(36) 1192

現在の取り組みを踏まえて課題を抽出

2月に続いて2回目の開催となった「まちづくり市民会議」。まちづくりに取り組む各団体が、自分たちの活動だけでなく効果的に連携した活動につなげていくことを目的に開催しています。

今回は「ごみの減量」。各地区のコミュニティ運営協議会、ごみの減量などに取り組む市民活動団体6団体、無作為で選ばれた市民11人、市職員らが参加しました。

座長は、北九州市立大学国際環境工学部教授の二渡了（ふたわたり・とおる）さん。各団体をつなぐ中間支援組織として活動している「むなかた市民フォーラム」のメンバーが、各班の進行役を務めました。

各班で「ごみの減量」の課題について熱心に話し合う参加者



まず最初に、市や市民活動団体、各コミュニティが現在の取り組みや考え方について発表。その後、参加者は6班に分かれて「ごみの減量」に関する課題を議論しました。

各班からは、「ごみの分別方法が知られていない」「高齢化でごみの処理がますます困難になった」「生ごみの水切りが進んでいない」「ダンボールコンポストなどを利用した生ごみの処理が不十分」「事業者の過剰包装」など、さまざまな課題が発表されました。

それぞれの立場から解決策を模索

続いて、各班で指摘された課題を解決するために「何ができるか」について話し合いました。

例えば、
▽「個人の生活スタイルを改善する」ためには、「ごみごどのように処理されているのか清掃工場を見学する」
▽「分別を促進させる」ためには、「市民活動団体の協力を得て体の不自由な人を支援する」
▽「事業者の取り組みを強化する」ためには、「梱包（こんぼう）種類の制限について地域事業者と話し合う」
▽「生ごみを減らす」ためには、「小・中学校で生ごみ減量化（コンポストの利用や水切りの実施など）の教育を充実する」など、それぞれの立場で主体的な意見が出ました。



未来の担ぎ手誕生

東郷小児童が「田熊山笠」を体験！



前走りを務めた東郷小の児童たち



東郷地区を力強く駆け抜けた田熊山笠

夏の到来を告げる田熊山笠が7月17日、東郷駅から市役所までを走り抜けました。今年の山笠には、東郷小学校の全校児童が「生活科の授業」や「総合的な学習の時間」として参加。祭りを大いに盛り上げました。

この取り組みは、東郷小学校が田熊山笠を主催する田熊区へ働きかけて実現。郷土の伝統文化の一つである田熊山笠に参加することで、郷土を愛し、ふるさとを大事に思う心を育てることが目的です。この日を迎えるまでに子どもたちは、山笠の準備段階の棒締めや人形飾りの見学、地域の山笠関係者からの「山笠教室」で学習するなど、事前準備を進めました。

当日は、祭りを祝福するかのような快晴の中、午後2時に東郷駅東口をスタート。1～3年生は山笠が通過する歩道に立って声援を送り、4年生は山笠に向かって勢い水をかけ、5・6年生は市役所入口付近での前走り（さきばしり）で山笠を応援しました。

前走りを務めた6年生の上小澤季祐（かみこざわ・ときひろ）くんは「地域の祭りに参加して、知らない地域の人たちとも交流することができました。大きくなったら山笠を担いでみたい」と将来の夢を話してくれました。

田熊山笠総代の安部幸敏さん（65歳）は「山笠は、世代交代をしながらやっていくものだと思っています。子どもたちの参加や保護者のみなさんの応援など、沿道の声援が途切れることなくとても盛り上がりました。今後、この子どもたちが大きくなったら、地元に残る子どもはもちろん、就職などで遠くへ行ったとしても、祭りの時期には帰省して山笠に参加してくれることを願っています」と次世代への継承に思いをはせていました。

問い合わせ先 東郷小学校 ☎(36)2064

参加者の浦勝さん（71歳・日の里）は「市民活動団体やコミュニティのみなさんの話を聞いて、ごみ減量への熱意を感じました。以前、ごみ出しの方が簡単で設置型コンポストの利用が続かなかった。これを機会に利用を再開したい」。



班の意見を発表する池野地区コミュニティの樋口次次さん（右から2番目）

割り箸の回収などに取り組んでいる「リサイクル・ママの会」の武田淑子さんは「分別収集や団体の活動などを見ると、宗像市は先進地だと思っています。でも、データをみると課題も多くまだまだ足りないと思います。これからは会の活動を通して、子どもたちにごみ減量の大切さを伝えていきたい」とまちづくり市民会議を通して感じたことを話してくれました。

*詳しくは、市☎http://www.city.munakata.jp/ →「市内にお住まいの方」→「市の政策」 ↓「まちづくり市民会議」で紹介しています

宗像シティボウル

健康！友達作りに！

ボウリングの歴史は意外に古くて紀元前5000年ごろのエジプトの貴族の子供のお墓から大理石で出来たピンとボールが発見されているんだよ。

ボウリング無料体験教室参加者募集！

プロ協会認定インストラクターが指導致します！

●火曜コース：9/6～ 10:30～14:30～
●水曜コース：9/7～ 10:30～14:30～
●金曜コース：9/2～ 10:30～14:30～（各コース90分×4回）

※祝日の場合、お休み
※受講料 無料（レンタルシューズ代300円は別途必要）
▽申し込み方法 9月1日（木）までにお電話、又は直接希望コースをお申込下さい。
（以前教室などに参加されたことがある方、マイボールをお持ちの方は、参加できません）

ボウリング 10:00～深夜2:00迄（土日祝前日は深夜5時まで）
バッティング 10:00～深夜0:00迄（日・祝のみ9:00から）

TEL 0940-66-6833

所在地 宗像市王丸徳丸772

家族・友人と楽しめるイベント盛りだくさん！詳しくはホームページをご覧ください。